

令和4年度常滑市教育委員会臨時会

令和4年4月1日(金)

(受入式終了後)

市役所1階会議室H

1 開会 午前11時45分

2 会議録署名者の承認

「渡辺慶太郎委員」

3 出席委員

藤田幸恵委員、渡辺慶太郎委員、久田孝寛委員、梶田幸司委員、土方宗広教育長

4 欠席委員

なし

5 議題 付議事件

議案第1号 令和4年度常滑市育英奨学金貸与者について

学校教育課長：資料に基づき説明。

教育長：何かご質問ございませんか。

委員全員：ありません。

教育長：お認めいただけますでしょうか。

委員全員：異議なし。

「可決」

議案第2号 令和4年度学校運営協議会委員の委嘱について

学校教育課長：資料に基づき説明。

教育長：質問をお伺いする前に確認したいのですが、学校運営協議会委員の人数は9名以内となっておりますが、極端な話、1名でもよいということでしょうか。

学校教育課長：規則上は不可能ではないですが、学校運営協議会の目的からすると、地域の様々な立場の方をもって構成することが前提となっているため、構成員が少数なのは現実的ではありません。

教育長：それでは少数の場合は、ある程度は教育委員会から指導的助言を行った方がいいということですね。

学校教育課長：はい。組織として成立させるためにはそれ相応の人数が必要であると考えております。

教育長：鬼崎中学校の委員は6名ですが、委員数が少ないのが気になります。また、メンバーのうち1名は近々入院して、委員として参加することができないという情報も耳にしましたが、委員が不在になった場合、代理を設けることは可能でしょうか。

学校教育課長：代理は可能であると考えております。

教育長：1名の委員が不在になった結果、その地区の意見が吸い上げられないという事態が起こります。そうした事態を避けられるように代理を立てる等の対策を検討してほしいと思います。

委員：常滑西小学校、常滑東小学校は、校長が委員の一人になっていますが、校長の立ち位置はどうなっているのでしょうか。

学校教育課長：校長については、規則第8条の委員の任命等の中で校長も委員とすることができるかと規定されているため、問題はございません。校長が委員になるかどうかについては、各校長の考えの元、他の地域の方と同じ立場で委員になって運営していくのか、一步引いて事務局の立場で校長が携わるのか、各学校で判断していただくことにしております。

委員：市議会議員が学校協力者として入っていますが、それは問題ないのでしょうか。

学校教育課長：市議会議員が学校によって委員となっていますが、これまで学校でのボランティアで草刈りや農業体験で関わっていた方です。議員であっても地域有識者としての立場で、適当と認められる方であれば委員とすることは可能であると考えております。基本的には、地域の一員として活動している方と認識しております。

教育長：現職の校長は報酬をもらうことはできるのでしょうか。

学校教育課長：制度上はもらうことができることになっていますが、実際には、これまで委員となっている校長は辞退しております。

学校教育課付課長：どのようなスタンスで関わるかによりますが、もらわないほうがいいのではないのでしょうか。

教育長：法的にはどうでしょうか。公務員の場合は報酬が発生すると兼業の手続きなどが発生します。また、今年度は初年度にあたるため、校長は必ず関わっていきます。実際に1年間運用した結果、校長を委員とすることが適当でないということになるかもしれません。そうした場合は、委員となることができないような内規を決める等の対策も考えていかなければいけません。校長が学校のビジョンを述べる場面がありますが、個人的には校長が述べて、校長が認めるという流れになるので、少し違和感を感じます。絶対にいけないということではないですが、1年間運用していく中で、判断していくべき課題だと思えます。

教育長：お認めいただけますでしょうか。

委員全員：異議なし。

「可決」

議案第3号 常滑市立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則の一部改正について

学校教育課長：資料に基づき説明。

教育長：何かご質問ございませんか。

委員全員：ありません。

教育長：お認めいただけますでしょうか。

委員全員：異議なし。

「可決」

議案第4号 常滑市文化財保護審議会委員の委嘱について

生涯学習スポーツ課長：資料に基づき説明。

教育長：何かご質問ございませんか。

委員全員：ありません。

教育長：お認めいただけますでしょうか。

委員全員：異議なし。

「可決」

その他

学校教育課長：令和3年度常滑市教育委員会表彰受賞者の追加について資料に基づき説明。

教育長：何かご質問ございませんか。

委員：表彰の内申は本人が提出するのでしょうか。

学校教育課長：保護者が直接提出することもあります。ほとんどは学校から内申を提出してもらい、情報の把握に努めております。

委員：今回発覚したのはピアノ連弾だったから分かったのでしょうか。

学校教育課長：そのとおりです。

教育長：ピティナの大会は、積極的に表彰してほしいというスタンスで情報発信しているため、通常なら漏れることは考えにくいと思います。考えられるとしたら、コロナ禍の影響により学校での表彰の場がなくなり、保護者が学校に表彰状をもっていかないために、学校が情報を掴むことができないということはあると思います。そういった漏れもないように、チェックしていく必要があります。